

南消防署において救急基本手技訓練を実施しました

☆ 訓練の想定

60歳代の男性が食事中に喉を詰まらせ心肺停止の状態に陥ったという想定で訓練を実施しました。

☆ 訓練の目標

- ① 救急現場での活動時間を短縮すること。
- ② 正確な心肺蘇生法（胸骨圧迫+人工呼吸）を実施すること。

上記の二点を目標に訓練を行いました。これは、救急隊が現場に到着してから救急車内へ収容するまでの一連動作の中で、救急隊が実施する心肺蘇生法（胸骨圧迫+人工呼吸）の完成度を高めることで心肺停止状態にある傷病者の救命率をアップさせることを目標としています。

☆ 訓練風景



